

欧州の大手金融機関が ハイブリッドクラウドにおける セキュリティとコンプライアンス体制を強化

数兆ドル規模の取引を処理する欧州の大手金融機関は、システムを流れるすべての機密性の高い個人情報と金融情報のセキュリティに対する懸念を強めていました。外国為替（FX）取引に注力していたため、複数の国で業務を行う必要があり、複数の政府によるデータセキュリティおよびプライバシー規制に加え、業界規制にも準拠する必要がありました。

課題

デジタル化の進展により、金融機関は増大し続ける機密性の高い金融取引を、かつてないほど迅速かつ効率的に処理できるようになりました。しかし、それを実現するには、プライベートクラウド、パブリッククラウド、SaaS プラットフォーム、そしてオンプレミスのレガシーシステムといった複雑なネットワーク環境を連携させ、企業顧客が求める最高レベルのセキュリティのもとで、取引の処理、決済、カスタマーサービスを提供する必要があります。

この金融機関は、こうしたハイブリッドなインフラストラクチャの複雑さにより、システム全体にわたる機密データの処理状況の可視性が低下し、セキュリティポリシーの管理が不十分になる可能性があることを懸念していました。PCI（Payment Card Industry）規格や GDPR（一般データ保護規則）など、金融機関が遵守すべき規制や標準を考慮すると、こうした課題は重大なリスクにつながる可能性があります。

最適なデータ保護と規制遵守を確保するため、この金融機関はデータセキュリティ・ガバナンスに対する集中管理型のアプローチを導入したいと考えていました。規制要件とセキュリティニーズに応じてポリシーを一元的に設定し、それをインフラ全体に実装することで、データがどこに保存されていても安全なアクセスを確保することを目指していました。また、暗号鍵の管理については、FIPS 140-2 認証を取得したインフラ環境で保護することも重視していました。

ソリューション

タレスは信頼できるアドバイザーとして、この金融機関におけるセキュリティポリシーのベストプラクティスの策定と実装を支援しました。タレスは、複数のクラウド環境およびオンプレミスシステムにまたがるデータセキュリティと機密データへのアクセスを一元的に管理するために、CipherTrust Data Security Platform を導入しました。

暗号化

CipherTrust Transparent Encryption により、金融機関は集中的な鍵管理、特権ユーザーのアクセス制御、詳細なデータアクセス監査ログにより、保存データの暗号化を実現しました。機密データへのアクセスに関するきめ細かなポリシーは、単一の管理画面から一元的に設定され、オンプレミス、複数のクラウド、ビッグデータ環境、コンテナ環境など、機密データが存在するあらゆる場所に適用されます。暗号化エージェントは、オペレーティングシステムのファイルシステム層またはデバイス層にインストールされ、すべてのアプリケーションに対して、暗号化と復号化が透過的に実行される仕組みとなっています。

鍵管理

タレスのCipherTrust Cloud Key Managerにより、この金融機関はマルチクラウド環境における鍵管理の効率化を実現しました。オンプレミス環境で CipherTrust Cloud Key Manager をホスティングすることで、暗号鍵の完全な所有権を保持し、Microsoft Azure や Office 365 などのプラットフォームにおける鍵の生成、使用、管理状況を可視化できるようになりました。



信頼の起点 (Root of Trust)

最後に、クラウドベースのセキュリティモジュールである Data Protection on Demand にルート化されました。このクラウド版の Luna Hardware Security Modules (HSMs) を活用することで、金融機関は社内には高度な暗号の専門知識を持たずに、FIPS 140-2 に準拠したセキュアな環境において「信頼の起点 (Root of Trust)」を確立し、暗号鍵を安全に保護することが可能になります。

結果

この金融機関は、セキュリティ体制の強化と全社的なベストプラクティスの確立に成功しました。タレスのデータセキュリティプラットフォーム「CipherTrust Data Security Platform」を導入することで、あらゆるシステムにまたがる機密データに対して、きめ細かなセキュリティポリシーと一元的なデータセキュリティ・ガバナンスを適用できるようになりました。この 360 度の可視性により、金融機関は PCI や GDPR などの規制への継続的な準拠に加え、Schrems II 判決によるデータ主権への影響も適切に管理できるという確信を得ています。

さらに、タレスのソリューションはスケーラブルなプラットフォームを提供し、継続的なアップグレードや新しいテクノロジーの導入を容易にするとともに、他のシステムとの統合性にも優れています。Azure および Office 365 向けのクラウドキー管理を成功裏に導入したことで、同機関は Amazon AWS への拡張や、Salesforce や ServiceNow の導入計画にも着手できる体制を整えました。

タレスについて

タレスはサイバーセキュリティのグローバルリーダーとして、世界中で高い信頼を得ているさまざまな組織が、あらゆる場所で重要なアプリケーション、機密データ、および ID を包括的に保護できるよう支援しています。タレスは、革新的なサービスと統合プラットフォームを通じて、リスクの可視化、サイバー攻撃の防御、そしてコンプライアンスギャップの解消を可能にし、毎日数十億人の消費者に安心して信頼性の高いデジタルエクスペリエンスを提供します。

決定的な瞬間のための決定的なテクノロジー。